



安田 早苗議員 《座間市公明党》

子どもの発達障がいを早期発見 5歳児健診の導入を

子どもの発達障がいや早期に発見するため、国の令和5年度補正予算で、5歳児健康診査支援事業を行うことになり、国を挙げての取組となりました。背景には、就学時の健康診断で発達障がい指摘された場合、事後対応の期間が十分ではなく、保護者の理解や支援体制も十分整わないとの指摘があります。また、5歳児健診により学童期の不登校数も減少したとの研究結果もあることから、国による本格的な支援となりました。そこで、本市の5歳児健診の導入に対する見解を伺います。

【再質問】本市は児童発達支援センターが設置され、よりきめ細かなフォローアップ体制ができるものと期待しています。5歳児健診の導入の目安について伺います。

【子ども未来部長】国において3年間の加速化プランで示されていますが、5歳児健診は補助体制を含めて明確になっていません。国の補助の仕組みができるからには、できるだけ早く実施できるように体制を整備していきたいと考えています。



川崎 高一議員 《さま大志会》

高齢者等の移動手段確保と、マイナンバーカードを利用した投票の利便性を図る取組について

高齢者や、移動を不便に感じている市民のために、本市が主体となり、道路運送法の許可や登録を受けずに、移動サービスを提供することは可能か伺います。また、市民の利便性を図るため、マイナンバーカードを利用した不在者投票のオンライン申請化ができないのか伺います。

【選挙管理委員会事務局長】マイナンバーカードの機能を利用した不在者投票の投票用紙等の請求に係る申請については、利用実態や投票環境の拡充の観点から、選挙管理委員会で検討していきます。

【再質問】オンライン申請が導入できるとすればいつ頃になるのか伺います。

【選挙管理委員会事務局長】導入時期は未定ですが、投票率向上に資する取組であり、検討していきたいと考えています。

【都市部長】市が主体となり、移動サービスを提供するには、既存のバス、タクシー等を見直し、自家用有償旅客輸送を検討することが必要です。本市では、鉄道、路線バス、タクシーのいずれも各事業者が地域公共交通を担っており、本市が主体となる取組は考え



沖本 浩二議員 《さま大志会》

公用車における電気自動車導入の取組を問う

本市の、公用車における電気自動車導入計画は、令和5年3月に策定された第2次座間市環境基本計画の進行管理指標にて、令和12年度までに90台にすることが掲げられています。令和5年第2回定例会の私の一般質問では、この目標値90台の根拠などについて質問し、政策提案として、まずやるべきことは、公用車の稼働状況などの現状把握を行い、公用車の適正配置というものを考えていかなければならない、その上で公用車の適正配置、更新計画の策定、それを基にした目標達成に向けての全庁的な取組を求めました。その後、どのよ

うに取り組みされているのか伺います。

【財務部長】令和5年4月から8月までの走行距離及び7月10日から8月22日までの稼働状況から算出した公用車稼働率を基に、配置の総量を検討する段階と認識しています。

【くらし安全部長】電気自動車の導入目標は、公用車全体の削減余地について検討しながら、適正な車両台数を算出するところから始めたいと考えています。今後の状況によっては目標台数の見直しも必要と捉えており、できる限り早期に電気自動車への転換が進む仕組みを検討していきます。



沖永 明久議員 《会派に属さない議員》

災害時の電源確保 電気式たん吸引器を使用する重度障がい者はなぜ対象とならないのか

本市では、2023年4月から障害者日常生活用具給付事業の項目に災害時の電源確保のため、発電機やポータブル電源などを追加しました。しかし、対象者は在宅で人工呼吸器を常時使用している方で、電気式たん吸引器を使用している方は対象となっていない。なぜ、人工呼吸器使用の方に限定したのか、説明を求めます。

【福祉部長】たん吸引器は手動式、または電池式の代替品がありますが、人工呼吸器は代替品がないので、人工呼吸器使用の方を対象としました。

【再質問】医療的ケア児者が日常的に使用している電

気式たん吸引器ですが、災害時に、こうした重度障がい者に対し、手動式を使用することは可能だと考えますか。

【福祉部長】具体的には可能かどうかの判断は、今はできませんが、担当課の結論は尊重したいと考えています。

【再質問】重度障がい者の場合、障がい特性から体を大きく振ったりします。しかも、災害時は環境が大きく変わります。そのような中、災害時に手動式たん吸引器の使用は可能だと思いますか。

【福祉部長】申し訳ありませんが、判断はできません。今後検討を続けていきたいと思



安海 のぞみ議員 《会派に属さない議員》

ハーモニーホールの大規模改修 名実ともに真のユニバーサルデザインに

私はこれまでハーモニーホール座間のバリアフリー化や、車椅子の方への対応、段差などへの安全対策等について重ねて質問してきましたが、その多くは大規模改修時に併せて検討するとの答弁でした。令和6年度予算に市民文化会館大規模改修事業費が計上されているので、改めてバリアフリー化等に関する部分の改修内容を伺います。

【再質問】大ホール客席に車椅子エリアの増設をご検討いただき本当にうれしく思います。大ホールへの車椅子席の増設は、今回の改修で実現すると受け止めてよろしいのでしょうか。現在の最後列だけではなく選択肢として客席中段にも車椅子エリアが準備されていることが一番大事だと思

【教育部長】既存の4席を撤去し、車椅子の方2人が使用できるスペースを設ける予定です。

【教育部長】いくつかのユニバーサルデザインに加えて、車椅子の方への対応として大ホール下手側の客席中段への車椅子席の増設、ホワイエから下りる下手側階段への車椅子用昇降機の設定、大ホール



松橋 淳郎議員 《会派に属さない議員》

高齢者に優しい「ユニティバス」の運行について

国土交通省のレポートでは、ユニティバスは住民福祉の向上を図るために、高齢者の外出の促進、まちづくりの活性化を目的とするとされています。本市においても高齢化が進み、ユニティバスの需要は増加すると推測されますが、本市の高齢者にも、経済的負担の軽減や、外出を促進し、健康寿命を延ばすために、高齢者に特化したユニティバスの運賃制度の取組についての考えを伺います。

また、ベンチ設置等の他市が取り組んでいる高齢者に優しいバス停留所について、見解を伺います。

【都市部長】高齢者だけに特

化した運賃制度は慎重に検討すべき課題であると認識しています。令和6年度当初予算案に、乗降客カウントシステムを導入し、高齢者の利用者数をカウントできるように設定し、利用状況の把握等に努め研究していきます。停留所へのベンチ設置については、利用者や地域から要望のある停留所にベンチの設置を検討するべきと考えますが、建設省道路局連通の取扱いにより、ベンチ設置後の有効幅員が、原則として2メートル以上あることや、道路の利用状況等を勘案し、管理上支障のない場所である必要な条件を満たすことで可能となります。

【おわびと訂正】令和6年2月15日発行の本紙第207号の記事のうち5面に掲載した議会誌の中で「愛媛県東海市」とあるのは「愛知県東海市」「愛媛県刈谷市」とあるのは「愛知県刈谷市」の誤りでした。謹んでおわび申し上げます。

- 21 関する調査特別委員会 議会運営委員会
- 20 都市公園等車両進入等の手続きマニュアルに関する調査特別委員会 第1回定例会 本会議
- 25 議会だより編集委員会 第1回定例会 本会議
- 27 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会 横浜市
- 28 高座清掃施設組合議会 第1回定例会
- 4/12 福井県福井市議会視察 来訪
- 16 都市公園等車両進入等の手続きマニュアルに関する調査特別委員会 議会だより編集委員会 神奈川県議会議長会 第212回定例会 川崎市
- 24 関東市議会議長会第90回定期総会 埼玉県さいたま市
- 25 沖縄県糸満市議会視察 来訪
- 26 兵庫県三田市議会視察 来訪
- 5/2 議会運営委員会
- 7/2 基地政策特別委員会 行政視察 海上自衛隊 地方総監部、陸上自衛隊 海田市駐屯地 (8)
- 8 福岡県大牟田市議会視察 来訪
- 13 民生教育常任委員会 行政視察 秋田県秋田市、大仙市、福島県伊達市 (15)
- 14 富山県富山市議会視察 来訪
- 14 都市環境常任委員会 行政視察 京都府亀岡市、大阪府富田林市、箕面市 (16)
- 14 高根県松江市議会視察 来訪